

【適用範囲】

第1条 当ホテルが宿泊客との間に締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款に定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

【宿泊契約の申し込み】

第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊者が、宿泊中に前項第(2)号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出があった時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超える場合は3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【宿泊契約締結の拒否】

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕が無いとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとするものが、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

ホテルメトロポリタン山形 宿泊約款

(7) 山形県旅館業法施行条例第 5 条の規定 (1. 宿泊しようとするものがとばく、その他の違法行為又は風紀を乱す行為をする虞があると認められるとき。2. 宿泊しようとする者が伝染病の疾病にかかっていると明らかに認められるとき。3. 宿泊施設に余裕がないときその他都道府県が条例で定める事由があるとき。) に該当するとき。

2 当ホテルは、次に掲げる場合、又は該当するとホテルが判断した場合において、宿泊契約を締結いたしません。

- (1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成 4 年 3 月 1 日施行) に規定する暴力団、暴力団員、又は暴力団、暴力団員が活動を支配する法人その他の団体の関係者であるとき。
- (2) 反社会的団体、反社会的団体構成員及びこれに類する行為が認められると当ホテルが判断した場合。
- (3) 暴行、傷害、脅迫、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合。

【宿泊客の契約解除権】

第 6 条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき理由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当ホテルが申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除した場合を除きます。）は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 8 時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客より解除されたものとみなし処理することがあります。

【当ホテルの契約解除権】

第 7 条 当ホテルは、第 3 条第 1 項により宿泊契約が成立した場合であっても、次のいずれかに該当することがある場合は、当該宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 第 5 条第 1 項第 3 号から第 7 号のいずれかに該当すると判断したとき。
- (2) 第 10 条に定める利用規約に反する行為があつたとき、又はそのおそれがあると当ホテルが判断したとき。
- (3) 前各号のほか、解除する正当な理由があるとき、又は正当な理由があるとホテルが判断したとき。

2 当ホテルは、第 3 条第 1 項により宿泊契約が成立した場合であっても、第 5 条第 2 項に該当すると当ホテルが判断した場合は、当該宿泊契約を解除します。

3 当ホテルが前 2 項の規定により宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

【宿泊の登録】

第 8 条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

【客室の使用時間】

第 9 条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 2 時から翌日 11 時までとします。
ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2 当ホテル、前項の規定にかかわらず、同項の定める時間外の客室の使用に応じることがあります。
この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過 4 時間までは、室料金の 3 分の 1
- (2) 超過 7 時間までは、室料金の 2 分の 1
- (3) 超過 7 時間以上は、室料金の全額

3 前第 2 項の追加料金は各種割引等の室料金にて宿泊されている場合においても、当ホテルが定める室料金から算出させていただきます。

【利用規則の遵守】

第 10 条 宿泊客は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則にしたがっていただきます。

【営業時間】

第 11 条 当ホテルの主な施設等の営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示等でご案内いたします。尚、やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

【料金の支払い】

第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

【当ホテルの責任】

第 13 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

第 14 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料は支払いません。

【寄託物等の取扱い】

ホテルメトロポリタン山形 宿泊約款

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときはそれが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金および貴重品については宿泊客が種類及び価額を明告しなかった場合は、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

第 16 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにてチェックインする際にお渡しします。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携行品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、7 日以内に最寄の警察署に届けます。

3 前第 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあつては前条第 1 項規定に、前項の場合にあつては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

【駐車場の責任】

第 17 条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

【宿泊客の責任】

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対しその損害を賠償していただきます。

【免責事項】

第 19 条 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用に当たりましては、お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

【支配する言語】

第 20 条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款と翻訳文の間に不一致又は相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

【準拠法】

第 21 条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

ホテルメトロポリタン山形 宿泊約款

●別表第 1

宿泊料金等の算定方法（第 2 条第 1 項、第 3 条第 2 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内 訳	
宿泊客が支払うべき 総 額	宿泊料金		
		①基本宿泊料(室料)	
		②サービス料(①×10%)	
	追加料金		
		③飲食料(追加飲食及びその他の料金)	
		④サービス料(③×10%)	
	税 金		
	消費税		

(備考) 基本宿泊料はフロント・客室に掲示する料金表によります。

●別表第 2

違約金（第 6 条第 2 項関係）

契約解除の通知を 受けた日 契約申込人数		契約解除の通知を受けた日				
		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	80%	20%	—	—
団体	15～99名まで	100%	80%	20%	10%	—
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日分）の違約金を収受します。

3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合はそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合は切り上げいたします。）にあたる人数については、違約金はいただきません。